

第6回岐阜県庁舎再整備検討委員会議事概要

1. 日時：平成29年6月23日（金） 14:00～15:00

2. 場所：岐阜県庁4階 特別会議室

3. 出席者

(1) 委員

高木座長、井戸委員、岡本（敏）委員、岡本（真）委員、小林委員、岡山委員（代理）、高田委員、猫田委員、横井委員（代理）、洞口委員、松本委員、村下委員、村瀬委員（代理）

(2) 県

知事、総務部長、総務部次長
県庁舎建設課長、県庁舎建設管理監
管財課長、防災課長、公共建築課長、議会事務局総務課長

4. 議事概要

岐阜県庁舎の設計について、事務局より資料に基づき説明。主な意見は次のとおり。

<デザイン・外観>

- ・各階の業務内容に応じて窓のサイズを変えたり、突き出たりといったように、外観に表情を付けると変化のある立面になると思う。
- ・エレベーターが動いていたり、渡り廊下を人が歩いているといった利用感が外から見えると、活気があって良いのではないか。
- ・コストを抑えるためにアウトフレーム工法の採用が想定されており、そのなかでどこまで外観を工夫できるかは限界があるかもしれない。
- ・各棟の規模も高さも異なるため、全体像を見てから外観を決めた方が良い。

<県産資材>

- ・県産品の活用について、食堂やカフェで使用する食器や食材についても検討してもらいたい。

<規模>

- ・他施設との兼ね合いを考慮しつつ、会議室は大中小をバランス良く備えられるようにした方が良い。
- ・大規模なホールなどが必要ということであれば、県民サービス棟の建設時に設置を検討してはどうか。